

目標達成計画

作成日: 平成31年4月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7 36	以前から設置していた身体拘束廃止委員会や30年度に新たに設置した身体拘束適正化委員会等の活動によって浸透してきているが、スピーチロックに関しては十分に浸透しているとは言い難い面がある。	身体拘束についての認識をスタッフ皆が共有し適切に行われること。	法人主催の勉強会やブロックの勉強会だけでなく、ホーム内のミニ勉強会を管理職と一緒に担当スタッフにも主催してもらって定期的開催する。	24ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。